

平成 24 年 7 月 16 日  
岡 山 大 学

## 岡山大学研究推進産学官連携機構鹿田本部を開所

### ～医療シズ・ニズ<sup>®</sup>のマッチングと基礎研究の社会への橋渡しを加速～

岡山大学研究推進産学官連携機構（機構長：研究担当理事・副学長）（以下、「連携機構」）は、7月16日、本学鹿田キャンパス（岡山市北区鹿田）基礎医学棟3階に「鹿田本部」を設置。その開所式を開催しました。

連携機構は、本学における学術研究の推進と産学官連携の推進を図るとともに、学術研究の成果である知的財産を組織的に管理、活用し、産学官連携を通じて本学で生みだされた優れた研究成果を社会に還元することをミッションとしています。

この“知的創造サイクル”の正の循環を作り出すことで、地元企業をはじめ我が国企業の国際競争力強化に貢献するとともに、岡山大学の研究活動の高度化、活発化を図っています。

本学は、平成25年8月に文部科学省が全国の大学・研究機関から選定した「研究大学強化促進事業」<sup>1)</sup>の支援対象大学（国内19大学）のひとつであり、研究の量、質において世界的に存在感のある「リサーチ・ユニバーシティ（研究大学）：岡山大学」を目指しています。そのための方策として、物理学や基礎生命科学、光技術分野など強みのある分野の増強<sup>2)</sup>、基礎研究成果を社会へ迅速に橋渡しするための連携機構組織改編ならびに人的資源の増強、これらに加えて、研究大学として本学の運営方針策定・運用を行うリサーチ・アドミニストレーター（University Research Administrator：URA）<sup>3)</sup>の配置などを行っています。

また、連携機構鹿田本部が置かれる鹿田キャンパスには、岡山大学病院が設置されています。岡山大学病院は、世界初の生体肺中葉移植<sup>4)</sup>や国内初となる脳死下での左右反転肺移植<sup>5)</sup>など、移植医療分野においては我が国のみならず、世界を先導する最高峰の医療機関です。また研究分野においても、平成25年4月に厚生労働省が選定した中国・四国地区唯一の「臨床研究中核病院」<sup>6)</sup>として、同地区の基幹病院とのネットワークを活用した大規模な臨床研究や治験、基礎研究から臨床応用にいたる橋渡し研究（トラン



## PRESS RELEASE

スレーショナル・リサーチ)を精力的に実施しています。また、医療機器・医薬品の研究開発に関連した人材の育成を一つの重要なミッションとし、医療現場のニーズとシーズの掘り起こし、大学や企業などの技術のマッチング、人材の育成などを戦略的に推進しています。また先日も、厚生労働省の「国産医療機器創出促進基盤整備等事業」<sup>7)</sup>に採択されています。

これら医療分野の強みを増強し、かつ社会実装をより迅速・適格に行うべく、病院組織の改編や人的資源の増強、工学・理学・農学などの非医学分野と連携、文部科学省のCOI STREAM「大学等シーズ・ニーズ創出強化支援事業（イノベーション対話促進プログラム）」<sup>8)</sup>のもと医療のシーズとニーズのマッチングなどを目的とした医療展示会「岡山メディカル・イノベーション」<sup>9)</sup>の開催などの取り組みを積極的に行ってきました。

今回の連携機構鹿田本部の設置は、「リサーチ・ユニバーシティ（研究大学）：岡山大学」と「臨床研究中核病院：岡山大学病院」という双方の強みのさらなる融合とともに、そこから生まれ出るシーズとニーズの迅速なマッチングや先導的・革新的アイデアに基づくイノベーションの種をより早く社会実装につなげる「橋渡し研究の加速」の役目などを担います。

今後ともみなさまの一層のご協力とご支援のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。



### 【連携機構鹿田本部の所在地】

〒700-8558 岡山県岡山市北区鹿田 2-5-1 岡山大学 鹿田キャンパス 基礎医学棟 3階



<補 足>

- 1) **研究大学強化促進事業**：大学等における研究力強化を促進し、世界水準の優れた研究活動の支援を目的に、平成 25 年度から始まっている文部科学省の事業です。本学を含め 22 の大学、大学共同利用機関法人が選定されました。  
[http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id2681.html](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id2681.html) )
- 2) **物理学や基礎生命科学、光技術分野などの強みのある分野**（リリース（平成 24 年 11 月 26 日）：外部機関による特許競争力調査で本学が高評価を獲得  
[http://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release\\_id3.html](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id3.html) )  
「研究大学強化推進事業」に採択！ 世界で研究の量、質ともに存在感を示す大学  
「リサーチ・ユニバーシティ：岡山大学」を目指して（岡山大学教育マガジンOU-Voice 第16号 [http://www.okayama-u.ac.jp/up\\_load\\_files/gakumu-pdf/ou/ou\\_voice16.pdf](http://www.okayama-u.ac.jp/up_load_files/gakumu-pdf/ou/ou_voice16.pdf) )
- 3) **リサーチ・アドミニストレーター（University Research Administrator：URA）**：大学において研究者とともに研究活動の企画や研究成果の活用促進などを総合的にマネジメントする人のことです。「岡山大学における URA」は、学長直属として配置され、研究担当理事・副学長とともに行動する執行部の研究ブレーン組織です。「学長特命（研究担当）」として、研究面で学長を補佐し、本学における研究方針の策定や大学改革の推進など経営的判断に立って行動します。
- 4) **世界初の生体肺中葉移植**（リリース（平成 25 年 7 月 5 日）：世界初 生体肺中葉移植に成功 [http://www.okayama-u.ac.jp/tp/topix/topix\\_id263.html](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/topix/topix_id263.html) )
- 5) **国内初となる脳死下での左右反転肺移植**（リリース（平成 26 年 7 月 4 日）：脳死下では国内初 左右反転肺移植無事終了  
[http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id3633.html](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id3633.html) )
- 6) **臨床研究中核病院**：厚生労働省の臨床研究中核病院整備事業として平成 25 年 4 月に選定されました。本事業は、日本発の革新的な医薬品・医療機器の創出等を目的に、国際水準の臨床研究、難病等の医師主導治験及び市販後臨床研究等の中心的役割を担う「臨床研究中核病院」の整備を目的としており、国内 10 機関が選定されています。岡山大学病院は今後 5 年間、「臨床研究中核病院」として小児・稀少疾患難病等疾患別ネットワークを形成。医師主導治験でなければ実施困難な研究の支援や、国際水準の臨床研究において中心的役割を担います。具体的には、中・四国地方の基幹病院とのネットワーク（中央西日本臨床研究コンソーシアム）を活用し、200 床以上の病院 83 施設で大規模な臨床研究や治験を迅速に実施します。また、薬事開発の規制当局との高度な連携や、薬事承認を目指した研究を行う人材の育成、日本発の医薬品や医



## PRESS RELEASE

療機器の早期実用化、日本国内での医療産業化の加速を促し、社会に貢献できる体制を整備します。(リリース(平成25年4月23日):岡山大学病院が「臨床研究中核病院」に選定 [http://www.okayama-u.ac.jp/tp/topix/topix\\_id252.html](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/topix/topix_id252.html) )

- 7) **国産医療機器創出促進基盤整備等事業**: 本事業は、診療だけでなく医療機器の研究開発も行う医療機関において、主に医療機器を開発する企業の人材を受け入れ、市場性を見据えた製品設計の方法などに関する資質を習得した人材を育成することで、国内外の医療ニーズを満たす医療機器の開発の推進を図ることを目的としています。厚生労働省より平成26年6月、本院を含む11機関が採択されました。(リリース(平成26年6月30日):岡山大学病院が厚生労働省「国産医療機器創出促進基盤整備等事業」に採択 [http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id3596.html](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id3596.html) )
- 8) **大学等シーズ・ニーズ創出強化支援事業(イノベーション対話促進プログラム)**: 本事業は、多様な参加者によるイノベーションの創出に向けた対話型ワークショップ等を大学などが運営・実施し、発掘された新たなシーズ・ニーズ、アイデアの調査研究を行い、コンセプトの実現可能性について評価を行うなど、イノベーション創出に向けた活動を支援するものです。文部科学省より平成25年8月、本学を含む30機関が採択されました。 [http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id2777.html](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id2777.html) )
- 9) **医療展示会「岡山メディカル・イノベーション」**: 大学等シーズ・ニーズ創出強化支援事業(イノベーション対話促進プログラム)の本学の取り組みのひとつとして、平成26年3月18~20日、鹿田キャンパスの Junko Fukutake Hall で、本学や地元企業などが開発した医療機器を紹介する展示会「岡山メディカル・イノベーション」を開催。市民向けの医療情報講演会や岡山大学病院と企業関係者による岡山大学病院の医療現場からの開発ニーズ対話会など、医療現場の声を医療機器・医療材料開発に橋渡しするための専門的な議論を繰り広げました。これは、医療現場と企業関係者が対話する全国的にもとてもめずらしい取り組みです。  
[http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id3367.html](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id3367.html) )



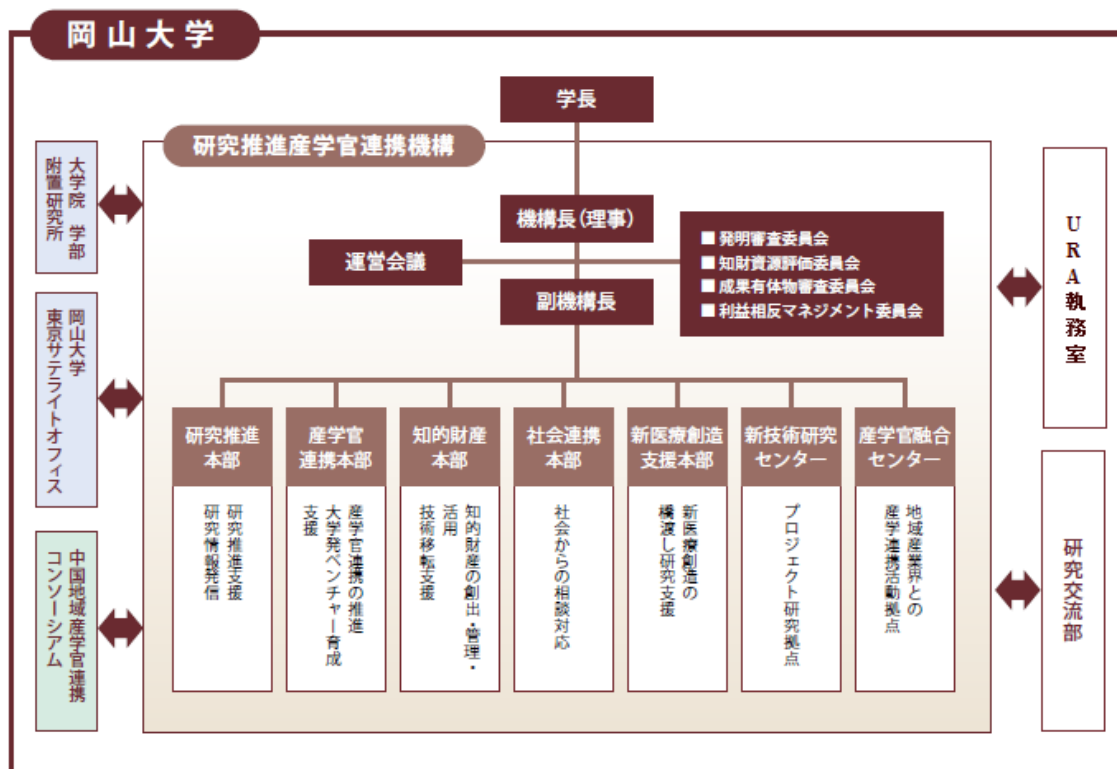
PRESS RELEASE

<参考>

岡山大学研究推進産学官連携機構

「研究推進」、「産学官連携」、「知的財産」、「社会連携」、「新医療創造支援」の5本体制で運営しており、これらに加えて、特に地域の産業界との連携を進めるための組織として「産学官融合センター」、またベンチャービジネスラボラトリー（VBL）を前身とする「新技術研究センター」を機構内部に擁しています。

当連携機構は、戦略的に岡山大学における広範な領域の学術研究の推進を図るとともに、研究の成果である知的財産を組織的に管理、活用し、産学官連携により成果を社会に還元していくことを使命としています。そして、社会と大学の間に"知的創造サイクル"の正の循環を作り出すことで、地元企業をはじめ我が国企業の国際競争力強化に貢献し、岡山大学の研究活動を高度化・活発化していくことを目指しています。



<お問い合わせ>

岡山大学研究推進産学官連携機構（担当：渡邊，日高）

（住所）〒700-8530 岡山県岡山市北区津島中1-1-1

（電話番号）086-251-8472

（FAX番号）086-251-8961

